

釧路都心部まちづくり計画【事業構想編】(案)に基づく 概算事業費と市の想定負担額について

市では【事業構想編】に基づき、**概算事業費と想定される市の負担額を独自に試算しました。**

なお、この概算事業費は、この事業規模がどれくらいのものかイメージを持って頂くために簡易的に試算したものです。市では今後、概略設計等を進める中で関係機関と協議を行いながら、より**精度の高い事業費の精査**を進めてまいります。

市独自の試算による現時点での概算事業費 (市の負担額)

【事業構想編】に基づく概算事業費	168 億円	約56 億円
鉄道高架整備費(H28試算)	96 億円	約20億円
街路整備費(H28試算)	25 億円	約6 億円
土地区画整理事業費(R2試算)	47 億円	約30 億円
北大通などの再構築事業 (次年度以降算出)		

注) 鉄道高架整備費は、**コスト縮減を主眼においた試算**である。

注) 鉄道高架整備費の市の負担額は、市が事業主体とならない「**連続立体交差事業**」に基づいて算出している。

注) 今後の概略設計や関係機関との協議の進展により、**事業費の増減**が想定される。

注) いずれも、**現行の国の補助制度や社会資本整備総合交付金の制度**に基づいて算出している。

※参考として、市が平成19年度に公表した鉄道高架案の概算事業費を掲載します。

(市の負担額)

H19 鉄道高架Aプラン概算事業費	290 億円	159 億円
鉄道高架整備費	162 億円	
街路整備費	27 億円	
土地区画整理事業費	93 億円	
その他	8 億円	